

Focus

— Vol.7 —



父親のある言葉が私の転機に―― 畜産から販売まで「循環する農業」

酪農家 熊崎穂波^{ほなみ}さん（26）



▲hona milk lab.でチーズや飲むヨーグルトを販売しています

自ら育てた牛の乳を使ってチーズや飲むヨーグルトを販売している熊崎穂波さん―高校2年生で進路に迷っていた頃、酪農家の父親と訪れた北海道で、搾りたての牛乳や作りたてのチーズのおいしさに衝撃を受け、迷いが晴れ酪農家の道へ―両親の仕事は和牛繁殖農家。母牛を育て子牛を産ませ約9カ月育てること。「この仕事は消費者からは遠い」父親がもらしたこの言葉が「生産から消費者にまでつながる「その先」の仕事がしたい」この思いにたどり着ききっかけに。それが牛を育て、その牛の乳を使った製品づくりと販売までを一人で行うことでした。

平成28年に就農し、自分のお店を作った今年で3年目。「今あるつながりの中で、いずれは飲食店経営までを視野に入れている。」と常にその先を模索しているようでした。

ご希望の情報を受け取る
「下呂市メール配信サービス」にぜひ登録を！

緊急災害情報や防犯情報など、9つのメニューから希望の情報を選んで登録できます。

特に災害時には「防災行政無線」と同じ内容を配信しますので、放送が聞き取れなかった場合などでも、メールで内容を確認することができるので安心です。ぜひ、登録してご利用ください。



COVER ー今月の表紙ー



9月上旬から市内各所で始まった稲刈りの風景。
(写真は金山地域)
今年は天候の影響も少なく、例年並みの収穫となったようです。